

## 第4期中期目標期間における大学共同利用機関の今後の在り方に関する 国立大学共同利用・共同研究拠点協議会への照会事項

1. 「第4期中期目標期間における大学共同利用機関の在り方に関する意見の整理」  
（平成30（2018）年9月21日科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会）（以下「意見の整理」という。）における「（3）①大学の共同利用・共同研究拠点との連携」に関して、以下の点についてご教示ください。

（1）「共同利用・共同研究体制の強化に向けて（審議のまとめ）」においては、大学共同利用機関と共同利用・共同研究拠点の役割について以下のように記載されていますが、貴拠点の研究分野においては、大学共同利用機関と共同利用・共同研究拠点がそれぞれどのような役割を果たすべきと考えますか。もし、貴拠点の研究分野に該当する大学共同利用機関がない場合は、分野を問わず大学共同利用機関と共同利用・共同研究拠点それぞれの在り方・役割についてのお考えをお聞かせください。

「共同利用・共同研究体制の強化に向けて（審議のまとめ）」（抜粋）

（平成27年1月28日 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会）

### ①大学共同利用機関の役割

○ 大学共同利用機関は、全国で複数確保することが困難な大規模装置、大型事業、貴重資料、データベースなどの学術研究基盤についての共同利用を、利用者である研究者とともに持続的・発展的に進めることを特色としており、基本的に、当該分野における全国で一カ所の研究機関であるため、自ずから我が国の学術研究分野における中核としてのCOE性を有している。また、共同利用システムを牽引する役割、また、共同利用・共同研究拠点に対して共同利用に係る支援の役割も有している。そのほか 個別機関では対応できない大型プロジェクトの推進体制を構築する役割が挙げられる。

### ②共同利用・共同研究拠点の役割

○ 一般に共同利用・共同研究拠点は、全国に存在し、大学共同利用機関よりも専門的な分野・領域を主たる対象としつつ、各分野・各地域における地政学的・歴史的特性を発展させる機能と、当該地域の、又は分野によっては全国規模の、共同利用・共同研究のハブとしての機能を有し、いわば研究分野の裾野拡大に貢献する役割などを主として担っていくことが期待される。また、大学に属する研究施設として、当該大学の強み・特色に貢献し、その機能強化に資することも同様に期待される。

(2) 「大学共同利用機関が中心となって、関連する研究分野の共同利用・共同研究拠点その他の研究機関とネットワークを形成」することについて

【関連する研究分野の大学共同利用機関がある場合】

- ① 大学共同利用機関が中心となって、関連する研究分野の共同利用・共同研究拠点その他の研究機関とネットワークを形成することが必要と考えますか。また、ネットワーク形成のメリット・デメリットをどのように考えますか。
- ② 今後、新たにネットワークを形成する場合、相手先として想定される大学共同利用機関はありますか。ある場合、それはどの大学共同利用機関ですか。また、当該ネットワークにおいて大学共同利用機関はどのような役割を果たすべきと考えますか。
- ③ ネットワークの形成に向けて、国としてどのような方策を講じる必要があると考えますか。

【関連する研究分野の大学共同利用機関がない場合】

- ① 新たなネットワーク形成のため、中心となる大学共同利用機関が必要と考えますか。また、その理由は何ですか。

(3) 共同利用・共同研究拠点から大学共同利用機関への移行について

- ① 共同利用・共同研究拠点が大学共同利用機関へと移行するのは、「全国で複数確保することが困難な大規模設備やデータベース等を有し、研究の進展を図る上で特定の大学の管理に属さないことが適当である」場合のほか、どのような場合が適当と考えますか。また、移行のメリット・デメリットをどのように考えますか。
- ② 移行を進めるに当たり、国としてどのような方策を講じる必要があると考えますか。

(4) 大学共同利用機関から共同利用・共同研究拠点への移行について

- ① 大学共同利用機関が共同利用・共同研究拠点へと移行するのは、「特定の大学が有する特色や強みとの相乗効果により研究の進展が期待できる」場合のほか、どのような場合が適当と考えますか。

2. 大学共同利用機関について、再編・統合を含めた在り方の検討を進める際の参考とさせていただくため、国立大学法人化後、複数の研究施設が関わる再編・統合を行った研究施設におかれては、以下の点についてご教示ください。

- (1) 再編・統合を行った動機・きっかけは何ですか。
- (2) 再編・統合に向けてどのように検討（プロセス、大学本部や研究者コミュニティとの調整、検討体制等）を進めましたか。また、特に検討を進める際の課題はどのようなものでしたか。
- (3) 再編・統合の効果（新分野創成などの学術的な効果、組織運営の効率化等）はどのようなものでしたか。

3. その他、「意見の整理」についてご意見があればご教示ください。